

平成31年度 三和地域協議会事業報告

三和地域協議会は平成27年度発足以来5年目を迎え、当初の3つの部会を一部再編成し、新たな体制で三和地域が「住みたくなる魅力あるまち」であるための事業に、引き続き取り組んできました。

また、地域住民の生活の足として欠かせないものとなってきた、「三和地域公共交通空白地有償運送事業（愛称：みわひまわりライド）」は、会員数、運行数とも大きく伸長し、地域内外の大きな注目をいただいています。

一方、地域交流の拠点であり三和地域振興の基幹的施設である「三和荘」の運営について、福知山市から示された「指定管理の廃止、民間委譲」等の指針に対し、三和地域自治会長会や各種団体等と連携し、「交流拠点施設『三和荘』存続住民会議」を結成してその施設、事業の継続に向けての要望活動を進めてきました。

それとともに、定住促進や子育て環境の充実、地域自治や地域福祉を守る活動など、各部会を中心に引き続き様々な地域課題に取り組み、自治会長会を始め地域内外の諸団体、個人のご理解ご協力をいただくことにより、着実にその歩みを進めることができたと考えております。

以下、それぞれの事業について報告します。

1. 協議会全体事業について

(1) 三和地域公共交通空白地有償運送事業（愛称「みわ ひまわり ライド」）

運行3年目を迎えた「みわ ひまわり ライド」は、37人の新規登録があり会員総数は126人となりました。うち、80人の会員が日常の買い物や医療受診、高齢者を対象とした健康体操教室、市役所支所や民間の各施設への用事等の移動手段として利用しており、月平均約80便の運行は三和地域に暮らす主に高齢者世帯の生活基盤を支えてきました。

さらに、昨年7月から食品スーパーの開店を契機に「相乗り」利用者への割引サービスを始め、利用者の負担軽減を図ってきました。

- ・運行区域 三和地域内及び三和地域から「PLANT（プラント）-3」までの買い物便の運送に限る
- ・利用料金 400（800）円／人・回 ※（ ）内は買い物便
※相乗り割引（7月から）・・・一定の要件を満たす2人以上の「相乗り」について、1人1便当り100円を割引
- ・運転者数 19人
- ・会員登録数 126人（うち、既利用者81人）
- ・利用者数 延べ968人（平成29年10月からの累計 延べ1,859人）

(2) みわこどもまつりの開催

日 時 令和元年6月16日（日）午後1時～4時

場 所 三和荘多目的ホール、体育館ほか
内 容 人形劇、読み聞かせ、おもちゃやアクセサリーの手作り体験、竹鉄砲などの遊びコーナー、似顔絵・菓子・雑貨の販売、お菓子すくい、調剤体験・お菓相談コーナー、犯人さがしゲーム、放送体験、新たに郵便局の手紙書き体験コーナーなどを開催
参加者 約650人

(3) 子育て講演会の開催

「みわを子育てしやすいまちに」するための活動の一環として、平成31年度も講演会を開催しました。

日 時 令和2年1月26日（日）午前10時～11時30分

場 所 三和荘多目的ホール

講 師 仲義 健さん

テーマ 「体だけじゃない！心も脳もぐんぐん伸びる 親子ふれあい運動遊び」

参加者 約90人

(4) 福知山公立大学連携事業

福知山公立大学がすすめる「地域密着型授業」として、矢口教授・中尾教授クラスの1回生17人と3回生2人が、平成31年4月から1年間、10回の授業と1回のイベント参加、1回の成果発表会を、大学、市役所支所と連携して実施しました。

前年度までのテーマに加え、平成31年度は(株)京都環境保全公社や(株)堀場エステックの企業活動、(株)横田石材の「三和ブドウ」再興の取り組み、人形劇や地域文庫の活動などを新たに組み入れました。

これらのテーマに基づき現地見学を行い、関係者が講師として講義と討論を行いました。そして昨年度に引き続き秋の「三和ふれあいフェスティバル」に、公立大学として模擬店を出店いただき、地域の皆さんとふれあうことができました。

1月には1年間の学習成果を3班で分野別に発表し、28人の住民の皆さんにも参加いただき、交流会も実施して意義ある話し合いができたようです。

今回の取り組みは、大学と地域との連携モデルとして、引き続き高い評価をいただいています。

(5) 空き家対策・定住促進事業

平成31年度も前年度に引き続き、市の空き家バンクや当協議会のホームページ、田舎暮らし相談会や移住交流フェアなどから当町へ空き家内覧希望のご連絡をいただき、市の担当者と一緒に空き家へ案内し、移住希望者と空き家の内覧、自治会、所有者さんとの調整をするなどの活動に当たりました。空き家バンクの登録についても依頼が増え、現在三和での空き家の登録件数は15件になり、昨年度に比べ内覧希望も増えました。今年度は現在おためし住宅に入居されている20代のご夫婦、30代の男性が当町での定住を予定されています。また、昨年移住された70代のご夫婦が

今年春より農家民泊経営予定、30代のご夫婦も農業従事者となりそれぞれ準備に日々忙しく、そして楽しく過ごしておられます。加えて、これまで三和では川合地区だけだった「移住促進特別区域」ですが、三和町自治会長会にて合意をいただき令和2年度より細見、菟原地区も特区となり、三和町への移住者をより受け入れやすい環境になりました。4回目となる移住者交流会は三和学園で開催し、移住者の皆さん、地域の方、また三和学園の先生方にも参加して頂きました（43名）。今回は、キッズコーナーを設け地域のボランティアの方に読み聞かせをお世話になり、お子様連れの参加者の方にも安心していろんな方と交流していただきました。

(6) その他の活動

三和地域で開催される各種イベントや行事に、要請に応じて準備要員やスタッフとして参加し、その運営に協力してきました。

2, 常任委員会について

協議会全体の方針や事業の進め方を協議するため、おおむね月1回、定期的に行っています。構成は会長、副会長、部会長、副部会長、常任委員、事務局の12人です。

- 平成31年度 11回開催

3, 部会活動について

◎ 地域活力部会

○ 会議の開催

- ・令和2年3月末現在、計4回の部会と各イベント等の事前打合せを計7回開催しました。

○ 「みわふれあいカフェ」出店・4周年記念コンサート開催

地域住民が気軽に集い、のんびりお喋りしながら交流を深める場所づくりを目的に企画したみわふれあいカフェは、平成31年度も4月～11月まで計28回開催し、のべ約200人の方がご来場くださいました。また、昨年同様第1金曜は珈琲工房カリビアンさんにオリジナルコーヒーを淹れていただきました。6月には「みわこどもまつり」で出店を行い、9月にはカフェの4周年を記念して興雲寺（中出）でアコースティックトリオ・Jenna（ジェンナ）による無料コンサートを開催しました。

○ 「みわこどもまつり」開催

親子で楽しめるイベント「みわこどもまつり」を平成31年度も継続して開催しました。みかんの本文庫・福知山淑徳高校による人形劇をはじめ、読み聞かせ、手作りおもちゃやアクセサリーの制作、竹で作った水鉄砲などの体験コーナー、手作りお菓子や雑貨、似顔絵などの販売コーナー、お菓子すくいなどのブース、ゆう薬局の調剤体験・お薬相談コーナー、地元駐在所の犯人さがしゲーム、京都FM丹波放送の放送体験、そして新たに郵便局の手紙書き体験コーナーが増え、今回も手作り感あふれるイベントとなりました。途中で雨が降ってしまいましたが、来場者は約650人と増加し、必要とされているイベントであることを改めて感じています。

○三和音頭の普及活動

三和音頭の再普及に向け、平成31年度も5月のうぶやの里フェスタ in みわ、11月の三和ふれあいフェスティバルで披露しました。また、三和学園の9月の体育祭にて踊りたいとお話をいただき、三和学園の生徒へ踊りの指導に行き、これで、三和地域の小中学生全員が三和音頭を踊れるようになりました。

○京都FM丹波「みわを元気に」放送

平成29年度から放送を開始した「みわを元気に」のコーナーですが、平成31年度も隔月で計6回の放送を行いました。内容は、大原神社・産屋、子ども文庫、ふれあいカフェコンサート、珈琲工房カリビアン、三和地域包括支援センター、福知山市立図書館三和分館についてと、色々なゲストをお招きしてお話ししていただきました。広報紙に掲載しているQRコードからアクセスすれば、いつでも聴けるようになっていきます。

○「みわ子育て講演会」開催

「みわを子育てしやすいまちに」するための活動の一環として、平成31年度も講演会を開催しました。昨年度開催して好評だった運動遊びの講演で、豊岡市で運動遊び事業を行われている仲義健さんをお招きし、実演・体験を交えながら講演をしていただきました。親子連れなど約90人が来場され、楽しく動き回っておられました。

また、3月には岐阜県の「劇団なんじゃもんじゃ」さんにお越しいただく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、やむなく中止となりました。

◎ 生活基盤部会

平成31年度は、部会の研究テーマを「これからの地域福祉の在り方」とし、取り組んできました。部会メンバーは自治会や老人会、民生委員の各代表、福知山市や市社会福祉協議会、民間の福祉施設関係者らで構成。団塊世代のすべてが75歳以上の後期高齢者になる2025年を目途に国が地方自治体を巻き込んで進めようとしている「地域包括ケアシステム」とは何なのか。その狙いなど考えながら、三和にふさわしい地域福祉の在り方を検討してきました。

計7回の会合を重ね、市から包括ケアについての説明を聞き、社協や民生委員、介護福祉施設の代表からは現場が抱える課題などについて報告を受けるなど、実態把握に努めました。核家族化、少子高齢化が進む中で、財政面に加え、人手不足が深刻化し、高齢者の介護など福祉を取り巻く環境は一段と悪化しています。

地域包括ケアシステムは、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るようにする体制づくりです。医療、介護、介護予防、生活支援など一体的に提供する「包括ケア」の中で、われわれ住民が担える福祉サービスとは何か。そして、それを効果的に実現するための仕組みをいかに構築するか。なかなか難しい課題です。

出来るだけ長く元気で過ごすための介護予防面や、ちょっとした生活支援などについて、地域のニーズをつかみ、住民の側からのアプローチの仕方を考えたいと思っています。新年度からは、ニーズの絞り込みを進め、具体的な仕組みづくりを目指します。皆さんのお力添えがないと実現は不可能です。ご理解とご協力をお願いします。

◎ 交流・連携部会

この間、地域で生まれてきた様々な新たな要素（公立大学連携、工業団地の立地、新たな移住者の増加など）を、地域協議会を拠点としてさらに生かしてつないでいく取り組みが必要であるとして、本年度から「交流・連携部会」を立ち上げることにしました。

新たなメンバーの呼びかけやテーマの検討などについて、常任委員会を中心に議論を進めてきましたが、年度内に部会を立ち上げるに至りませんでした。

新年度にスタートすべく、準備を進めています。

4、地域住民活動支援事業

(1) 三和荘存続に向けての住民要望について

福知山市では、昨年2月6日付けで市が設置する「福知山市指定管理者制度第三者評価委員会」（委員長 新川達郎 同志社大学教授）により、「福知山市指定管理施設のあり方検討にかかる調査報告」がなされました。

この報告書については翌2月7日、京都新聞において「福知山市内の4宿泊施設指定管理から除外を」という見出しで報道され、広く住民の知るところとなりました。地域住民の衝撃は大きく、地域住民や三和荘で働く人たちからは不安の声が寄せられています。

現在の経営形態は、三和地域住民を代表する経営体として「特定非営利活動法人丹波・みわ」（以下「NPO 丹波・みわ」）を設立し、指定管理施設として民間経営を基本にしながら、公共性を確保する方式として運営されてきたものです。

私たちは今回の報告書の公表に対する三和地域住民の不安や憤りの声を受け、地域内の主な住民組織の代表による「交流拠点施設『三和荘』存続住民会議」（5月17日設置）を組織し、この問題に対する対応について検討を進めることにしました。

その後、市の担当部局の説明を受けましたが、明確な説明が得られない中、自治会長会等で住民の意見を聞きながら、8月2日に福知山市に対し、「申入書」を提出しました。

申し入れに対して8月20日に回答の場が設定され、経過について市からの説明が行われました。内容はほとんど今後の検討に委ねるものであり、「申入書」の疑問に答えるものではありません。

9月以降、指定管理者であるNPO 丹波・みわとの間で協議が進み、本年3月で指定管理の期限を迎えることから、2年間の指定管理延長が合意されています。

12月には福知山市議会で指定管理の2年延長が認められ、存続会議に対して市から「回答書」が提出されましたが、内容は指定管理の継続と三和荘の経営及び建物診断の現状についての報告であり、私たち住民の根本的な疑問に答えるものではありません。今後の基本的な方針や経営手法はもとより、三和地域振興における三和荘の役割などについても全く答えられていない内容です。

「交流拠点施設『三和荘』存続会議」では住民の皆さんの思いを結集し、三和荘存続と地域振興機能の発展のためとして、本年2月20日付けで「申し入れ書に対する「回

答書」について」を追加提出し、継続的な協議と真摯な対応を求めています。

(2) 地域住民組織との共同事業について

○みわ夏まつりの開催

昨年に引き続きNPO丹波みわと「みわ夏まつり」の事務を分担、実施しました。今年には台風の影響で恒例の花火大会を実施することができませんでしたが、ビンゴゲームやバンド演奏など、約1,300人の参加で盛大に開催することができました。

(3) 一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社福知山地域本部三和支部事務局について（福知山観光協会 三和支部事務局）

春・秋のハイキングや総会、理事会の開催、三和ぐるっとマップの普及活動等、引き続き行事と組織運営の責任を担いました。

(4) 三和地域福祉推進協議会事業について

本協議会は、三和地域の地域福祉の推進・強化・連携を図ることを目的とし、地域内の住民、各団体が共同してお互いに支えあう地域社会を目指して、11月15～20日に3地区を会場に「認知症を知る講座」を開催し、自治会長と民生児童委員の連携のあり方等理解を深めるための契機となりました。

なお、3月12日に地元の歯科医を講師に計画した地域福祉講演会「お口の予防」は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、やむなく延期しました。

5、市役所三和支所委任事業について

(1) 三和ふれあいフェスティバルの開催

三和地域で開催される大きなイベントの一つである「三和ふれあいフェスティバル」の事務局を引き続き担い、平成31年度は来場者約4,000人と前年度並となりましたが、無事終えることができました。

平成30年度から福知山公立大学が参加するなど、新たな参加・出展者も生まれていますが、今後は市の補助金削減、臨時駐車場やスタッフの確保など、多くの課題に取り組んでいく必要があります。

(2) 三和町自治会長会事務局

三和地域の自治会長の連合組織である三和町自治会長会の独自活動について、事務局として連絡調整等の事務を実施しました。また、自治会長に対する月2回の刊行物等の配布や、各自治会独自の文書作成の支援等も実施しました。

(3) 無線放送録音受任

三和地域全域をカバーする重要な情報伝達手段である「無線放送」について、そのアナウンス録音を担当し、年間を通して各家庭に情報を届けることを行いました。

6, 広報紙「みわを元気に」の発行

地域協議会の活動を知っていただくとともに、三和地域における様々な住民活動を紹介するため、広報紙「みわを元気に」を隔月で6回発行しました。

7, その他

会長が市内各種団体の委員として、多くの会議等に参加し、地域の意見要望等を反映することができました。

8, 事業経過(日誌)

平成31年

- 4月5日 地域交流カフェ「みわふれあいカフェ」再開
毎週金曜日開設(12~3月冬休み)
- 4月18日 第1回三和町自治会長会
- 4月18日 第1回地域活力部会
みわふれあいカフェについて、三和音頭について、みわこどもまつりについて、子育て講演会について、部会員について
- 4月19日 第1回常任委員会
新年度の協議会全体課題について、三和ふれあいフェスティバル・夏まつり幹事会、実行委員会の開催について、広報紙第25号の発行について
- 4月24日 FM丹波「みわを元気に」(「七色バラエティワイド」内コーナー)
大原神社や産屋について(宮司、総代、副総代のお話)
- 4月26日 福知山観光協会三和支部通常総会
平成30年度事業報告及び平成30年度会計収支決算報告について、会計監査報告、平成31年度事業計画(案)及び平成31年度会計収支予算(案)について、役員改選について

令和元年

- 5月3日 うぶやの里フェスタ in みわにて三和音頭披露
- 5月14日 第2回常任委員会
三和荘民営化問題への対応について、みわこどもまつりの開催について、各部会の予定について
- 5月16日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第25号発行
- 5月25日 JRふれあいハイキング開催
「初夏の宇麻谷神社・渋谷神社めぐり~三和をあじわう~」
参加者23人
- 6月11日 第3回常任委員会
みわこどもまつりの開催について、みわひまわりライドの制度改正について

- 6月16日 みわこどもまつり開催
人形劇、読み聞かせ、手作り体験、菓子や雑貨の販売、犯人さがし、調剤体験、放送体験、お手紙体験など 参加者約 650 人
- 6月20日 第2回自治会長会
- 6月25日 FM丹波「みわを元気に」
子ども文庫や自身の活動について（みかんの木文庫・仲野恵子さんのお話）
- 6月27日 第2回地域活力部会
みわこどもまつりについて、みわふれあいカフェについて、講演会について、三和音頭について、部会員について
- 7月17日 第4回常任委員会
みわ夏まつりの開催について、みわひまわりライドの制度改正について、各部会の予定について
- 7月18日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第26号発行
- 8月14日 第12回みわ夏まつり開催
- 8月19日 第1回生活基盤部会
それぞれの団体等の活動状況と課題について、部会研究テーマについて、これからのスケジュール等について
- 8月21日 FM丹波「みわを元気に」
みわふれあいカフェ4周年記念コンサートや自身の活動について（Jenna・野田明さんのお話）
- 8月23日 第5回常任委員会
みわふれあいカフェコンサートの開催について、みわひまわりライドの制度改正について、各部会の状況について
- 9月7日 みわふれあいカフェ4周年記念コンサート in 興雲寺
アコースティックトリオ「Jenna」コンサート 参加者約 80 人
- 9月9日 第2回生活基盤部会
地域包括ケア制度等の状況について、質疑等、当面の研究テーマについて
- 9月11日 三和学園で三和音頭練習会
- 9月19日 第3回三和町自治会長会
- 9月20日 第3回地域活力部会
ふれあいカフェコンサート総括、ふれあいフェスティバル三和音頭について
- 10月7日 第3回生活基盤部会
三和地域内福祉事業者の現状と課題について、質疑等
- 10月10日 第6回常任委員会
年度前半の活動状況について、今後の活動分野（テーマ）について、

- 新しいメンバーの勧誘について、各部会の状況について
- 10月17日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第27号発行
- 10月23日 FM丹波「みわを元気に」
自身の活動の経緯や現在の生活について（珈琲工房カリビアン・熊谷正澄さん）
- 11月2日 JRふれあいハイキング開催
「明智光秀ゆかりの古城跡を訪ねて」参加者12人
- 11月8日 三和ふれあいフェスティバル準備
- 11月9日 三和ふれあいフェスティバル準備・開催
- 11月10日 三和ふれあいフェスティバル開催
- 11月12日 第7回常任委員会
交流・連携部会(準備会)の立ち上げについて、年末年始の活動について、新しいメンバーの勧誘について、各部会の状況について
- 11月13日 第4回生活基盤部会
民生委児童委員活動からの地域の現状と課題について、質疑等
- 12月7日 第4回移住者交流会
三和地域への移住者・移住希望者・地元住民の意見交換・交流会
参加者43人
- 12月18日 FM丹波「みわを元気に」
包括支援センターの活動やご自身について（三和包括支援センター・上原亜弥さんと工藤尋さんのお話）
- 12月19日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第28号発行
- 12月19日 第4回三和町自治会長会
- 12月24日 第5回生活基盤部会
地域包括ケアの取り組み事例等について、質疑等

令和2年

- 1月9日 広報紙発行
広報紙「みわを元気に」第29号発行
- 1月17日 第4回地域活力部会
子育て講演会について、みわこどもまつりについて、ラジオ「みわを元気に」について
- 1月22日 第8回常任委員会
子育て講演会の実施について、公立大学成果発表会について、総会の準備について、三和荘の協議状況について、各部会の状況について
- 1月26日 みわ子育て講演会「心も脳もぐんぐん伸びる 親子ふれあい運動遊び」
参加者約90人
- 1月29日 第6回生活基盤部会

- 三和地域で必要な地域包括ケアサービス等について、質疑等
- 2月18日 第9回常任委員会
総会の準備について、公立大学成果発表会提案の事業化について、子育て講演会2について、各部会の状況について
- 2月21日 FM丹波「みわを元気に」
図書館三和分館について（福知山市立図書館三和分館・大槻由美子さんのお話）
- 3月1日 みわ子育て講演会「劇団なんじゃもんじゃの たのしいおはなし」
新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止
- 3月2日 福知山観光協会三和支部理事会
令和2年度総会について
- 3月4日 第7回生活基盤部会
ひとり暮らし高齢者のアンケートの結果について、質疑等
- 3月17日 第10回常任委員会
新年度総会の準備について、自治会長会での依頼事項について、各部会の予定について
- 3月19日 第5回三和町自治会長会
新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止
- 3月30日 広報紙発行
広報紙第30号「みわを元気に」発行
- 4月11日 第7回総会（文書郵送方式による）